

市会議案第 1 1 号

女子差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める
意見書

上記の議案を提出する。

令和 3 年 3 月 2 3 日提出

吹田市議会議員 川本 均

同 五十川有香

同 山根 建人

同 玉井美樹子

女子差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める 意見書（案）

昭和54年（1979年）、国連において、男女の完全な平等を達成するため、女子差別撤廃条約が採択された。日本は昭和60年（1985年）に条約を批准しているが、条約の締約国189か国中、114か国が批准している女子差別撤廃条約選択議定書については、いまだに批准していない。

政府は、第5次男女共同参画基本計画において、女子差別撤廃条約の選択議定書については、諸課題の整理を含め、早期締結について真剣な検討を進めるとしているが、これまで議論が進んでいないのが現状である。

選択議定書には、女子差別撤廃委員会に権利の侵害を通報できる個人通報制度や同委員会による調査制度が規定されており、条約の実効性を担保する上で、重要な役割を果たすことが期待できる。

日本は、同委員会から、選択議定書の批准を複数回にわたって勧告されている。また、国会においては、選択議定書の批准を求める請願が採択されており、地方議会からも選択議定書の批准を求める意見書が提出されるなど、早期に批准を求める声は高まっている。

よって、本市議会は政府及び国会に対し、男女平等と全ての人の人権が尊重される社会を実現するため、女子差別撤廃条約選択議定書を速やかに批准することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月 日

吹 田 市 議 会